

古川西部地区

統合準備委員会ニュース

令和3年8月発行

—未来を担う子どもたちの教育環境の充実を目指して—

編集発行：学校教育環境整備推進室

問合せ先：大崎市教育委員会 教育総務課

TEL：72-5032

FAX：72-4004

メール：ed-soumu@city.osaki.miyagi.jp

～第4回統合準備委員会を開催しました～

古川西部地区の第4回統合準備委員会を8月4日（水）に志田地区公民館を会場として開催しました。



＜第4回統合準備委員会の様子＞

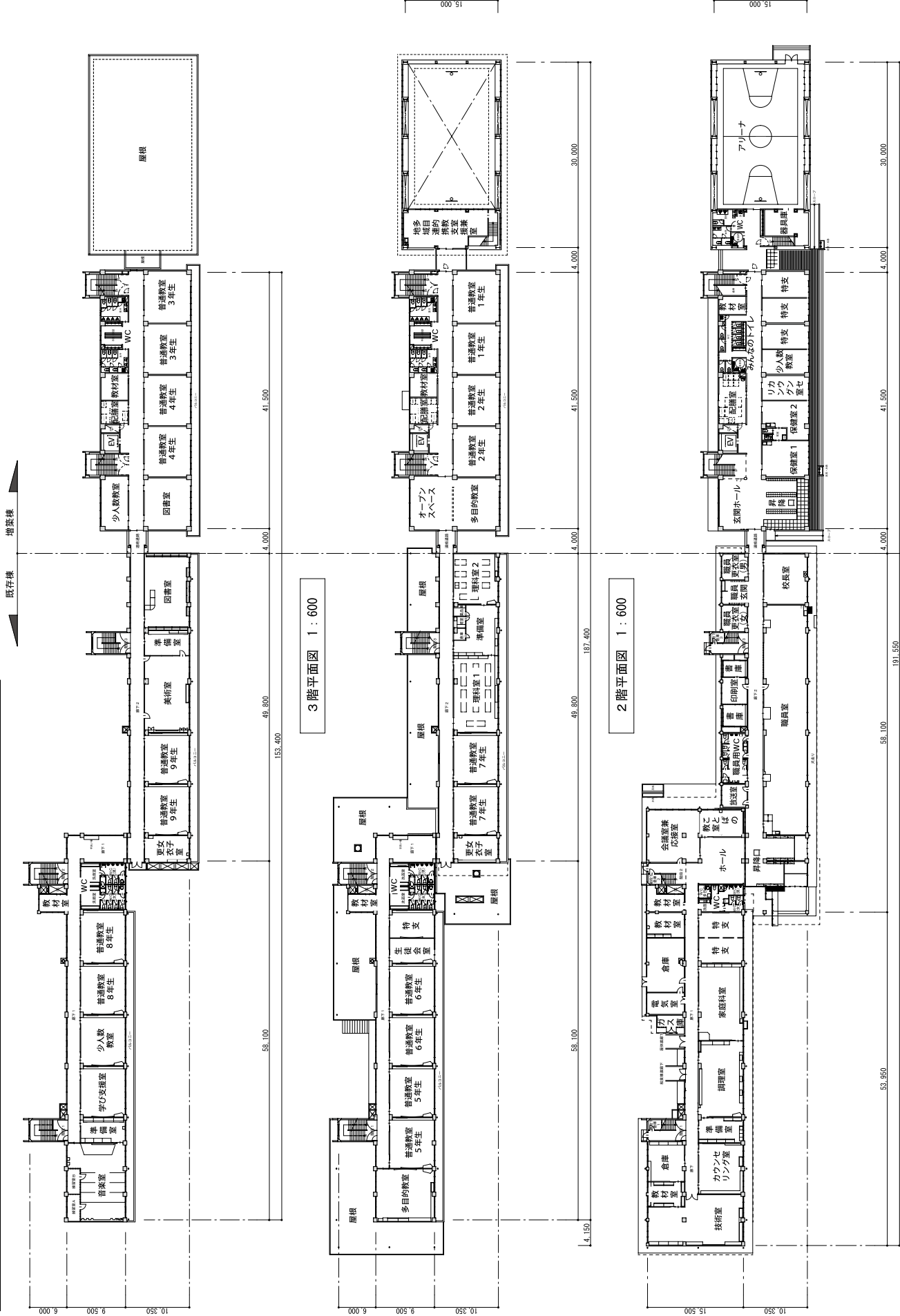
会議では、各委員の紹介の後、これまでの準備委員会の取組や統合校舎・屋内運動場等の基本設計について報告がありました。続けて、今年度開催した学校教育部会と総務部会の報告があり、協議に入りました。ここでは、今後の全体スケジュールや「校名」「校章」「校歌」の募集について協議いただきました。

以下、その概要をお知らせします。なお、本紙裏面には「古川西部地区統合校舎・屋内運動場増築及び既存校舎改修基本設計」を掲載しましたのでご覧いただければと思います。

【いただいた主な質問と意見】

- スケジュールが当初示されたものと変更になっていること、今までの報告になかった「校長会」が入っていることの説明がほしい。⇒設計に当たって各校長先生方のご協力をいただいたこと、スケジュールは進捗状況によって動きが出てくること、元々開催している中学校区校長会に統合に関する相談をさせてもらっている状況である。
- 工事中の体育の授業や屋外の部活動はどうなるのか。⇒外の部活については来年の中総体以降に着手しできるだけ影響のないように考える。工事車両のスペース等を考えなければならないが、なるべく子どもたちが活動できるよう最大限配慮していきたい。
- 中学生は工事期間中、どこで授業を受けるのか。⇒仮設校舎は設置せず、大規模改修工事と同じように、校舎内で施工に影響のない教室に移動して授業を行う対応を考えている。
- 学童保育の取扱いについての考えを伺いたい。⇒現在利用している学童保育を引き続き利用することを考えている。
- 校名募集の「〇〇学校」の「学校」を削除した方がいいのではないか。⇒委員の皆さんから、たくさんのご意見をいただき、委員長さんにまとめていただきました。①校名記載欄の「〇〇学校」の表記については、「限定するものではない」という趣旨の補足説明を入れる。②応募資格については、周知方法を検討し原案の「地域在住者」に「地域出身者」を加える。③「男女」の性別表記については、公募内容からすれば「差別につながる恐れはない」と判断し、原案のとおりとする。周知については、大崎市のウェブサイトに掲載することと、応募用紙に「出身者の方に、是非お声がけください」といった趣旨の表記を追加する、で全会一致となった。
- 校章の募集で「諸注意」のところは生徒には難しいのではないかと。⇒配慮した表現としたい。
- 校歌の作詞・作曲については地元の西中学区にいればその方をお願いした方がいいのではないかと。⇒現時点で方向性は決まっていないが、地元有缘の方をお願いすることも考慮していくことになる。
- 3つの募集について、表記上「ふりがな」の付け方に統一性がない。小学校の低学年を考えるとすべてにふりがながあってもいいのではないかと。⇒そのように対応します。
- 校歌の募集に「単語やフレーズに込めた思い」を記載する欄があるが、必要ないのではないかと。⇒「どんな思いが込められた校歌なのか」について対外的に示すためにもお願いしたいと考えている。ただし、「思い」の欄に記載がないからといって、もちろんではあるが、「応募無効」ということにはならない。

古川西部地区統合校舎・屋内運動場増築及び既設校舎改修工事基本設計



大崎市ウェブサイト「学校統合に関する情報」でも図面データやこれまでの会議録を公開しています。